

## 第 1871 回例会報告

令和 7 年 6 月 12 日(木)晴



### ◇会長告知◇

皆さん、こんにちは。諏訪地域もいよいよ梅雨に入りジメジメする日々が続きますが、先日テレビを見ていたら、この時期がこれから来る夏より太陽が一番地球に近づく時なので、梅雨がなければ、直射日光が直に届くため、たいへんな事になるらしく、私達にとっては梅雨の雨はとて有難いものなんだと気象庁に関係する方が言っていました。梅雨のこの時期は外にもあまり出れないし、憂鬱な気分になる方が多いと思いますが、これからは、梅雨の季節を有難く感謝して過ごしていきたいと思います。先月の話になりますが、テレビの地上波でジブリ映画の「君たちはどう生きるか」が放送されました。このアニメ映画に触れるたびに私が思い出すのは、何年か前にその映画の制作過程で宮崎駿監督に密着取材したドキュメンタリー番組の一場面です。アニメ制作の世界でも現代では様々な技術革新があるのですが、宮崎駿監督は今でも鉛筆と消しゴムで自分がイメージする一つひとつの原画を、頭を抱えながら、時折髪を掻きむしりながら、「描いては消し、描いては消し」を繰り返し繰り返し作業をしている姿です。自分が納得するまで描き続ける作業を繰り返していました。ジブリ作品は制作にとても時間がかかることは有名ですが、その理由が宮崎駿監督の作品にこだわるその姿勢にあることがよくわかる場面でした。そこで最も印象的だったのは、宮崎駿監督が「面倒くせえ～、面倒くせえ～」と唸りながらその描いては消しの作業を続けていた姿です。そして、最後に宮崎駿監督が仰っていた言葉が、「世の中で大切なことは、大抵面倒くさい」という言葉でした。確かに、仕事をする上でもそうですが、何かに真剣に取り組むことは、大抵「面倒くさい」作業が伴います。でも宮崎駿監督の言葉通り「面倒くさい=大切なこと」だからこそ、しっかり取り組まなければいけないんだと改めて気づかされました。これから先も、様々な「面倒くさい」作業があると思いますが、この宮崎駿監督の実感から出た言葉を私も信じて、素直に謙虚に取り組んでいきたいと思っています。今日は、正に「面倒くさい」を何度も何度も足を運んで保護司の活動を全国を飛び回ってご活躍されている小林聖仁会員の卓話例会です。どうぞ宜しくお願い致します。

### ◇幹事報告◇ 幹事 小笠原 仁

#### 【連絡事項】

1. 諏訪臨湖実験所一般公開のご案内を回覧いたします。事前予約制となりますので、参加される方は事務局へご連絡いただくか、裏面の QR コードからご予約下さい。
2. 本日例会後に理事会がございます。また、今夜、次年度理事予定者会議がございます。理事の皆様は宜しくお願いします。

【受領文書】ロータリー親睦月間リソースのご案内、インターアクト当日のプログラムと実施の御礼、月信

#### 【出席報告とニコボックス】

出席報告		ニコニコボックス	
		利用人数	今回の金額
会員数	32 人	13 人	30,000 円
出席対象	31 人		
出席者数	20 人	前回累計	687,000 円
出席率	64.5%	累計	717,000 円
前回修正出席数	人	目標額	60万円
前回修正出席率	%	達成率	119.5%



先週の早朝例会では、心温まるおかげを頂きまして、本当に有難うございました。ご馳走様でした。今日は、小林聖仁様のお話をとても楽しみにしております。どうぞ宜しくお願い致します。 太田淳也

先日の朝食例会では、平福寺さんには大変お世話になりました。おかげもとてもおいしかったです。本日の卓話を楽しみにしております。 小口直久  
久しぶりです。小林会員の卓話を聞きに来ました。

大澤邦彦  
今日の卓話 よく聞いて下さい。 小林聖仁  
おかげさまで 80 歳！！ 長崎政直

小林聖仁会員、今日は卓話を宜しくお願い致します。楽しみにしています。 北原数也  
小林聖仁さん お話楽しみにしています。宜しくお願いします。 宮坂英貴  
聖仁さんの卓話大変楽しみにしておりました。伊波さんも本日も、入会届を記入頂きましたので、皆様宜しくお願いします。 五味弾

### ◇委員会報告◇

最終例会は 6 月 26 日にマリオさんで行ないます。夜間家族例会ですが、今回はお子さんやお孫さんの参加は無しとし、同伴はご夫婦のみとなります。ぜひ、ご出席を宜しくお願い致します。 (河西クラブ奉仕副委員長)





## ◇誕生祝◇



田中久登会員、吉澤邦雄会員、小笠原仁会員、長崎政直  
会員おめでとございます

## ◇結婚記念祝◇



田中久登会員、五味弾  
会員おめでとございます

## ◇各規約変更について決議◇



規約の変更について、持ち回り理事会で承認され、例会の中で、会員の賛成多数により、可決されました。

## ◇例会内容◇

青少年奉仕委員会担当例会

小林聖仁卓話「私の更生保護活動」

(講師紹介文 青少年奉仕委員長 北原 数也)

今日は、青少年奉仕委員会の担当例会として、小林聖仁



会員に卓話をさせていただきます。

皆さんもご存じのとおりですが、44年間にわたる長い保護司活動の中で、全国の保護司の皆さんのために改革を行い、青少年で罪を犯した人にそっと寄り添い、同じ目線で親身に接することの難しさを乗り越えてこられたからこそ、昨年、名誉ある「瀬戸山賞」を受賞されたのだと思います。

このような素晴らしい方が当クラブにおられること、いつでもお話をお聞きできることは、大変誇らしく感じております。今日は「更生保護活動」について語っていただきます。

(卓話内容要約)

○保護司活動 44年:31歳で就職になられ、新天地となった岡谷での奮闘。

・福島県白河のご実家のお寺で、ご両親が今で言う子ども食堂のようなことをしていて、戦災孤児や食べ物に困っている子供たちと一緒に過ごしており、食材探しに苦労するお母様の様子も見て、就職は葬儀や法事だけをやっていたらいいわけではない、と気が付いたそうです。

・保護司との出会いを通じ、地域に馴染むことができました。

・保護司活動で得たものは、保護観察対象者にやさしく接することでご自身も対象者に育ててもらった、仲間との活動で「奉仕の理想」を持っていないとできないことだと学んだと話されました。また、上から目線では絶対に話さないことなどを教えていただきました。

「ありがたい心を持った人は人に対して優しくできる。」

○更生保護の心

・更生保護活動は心を豊かにする活動

・「ありがたいと思う心」が人に優しい、思いやりの心を生む

・家庭の中で「手を合わせる生活」「いただきますの心で暮らす生き方」について

更生保護の心としてなぜ犯罪を犯すのか、その背景を考察、特に昔は捨てられた子や食べることが自由にならないが故の犯罪が多かったと話されました。

そして食べることは命を頂くこと、そのことに感謝することで自然と「ありがとう」を言えることで心が豊かになるとも話されました。

○ORCに期待すること

・ここで終了時間がきてしまいましたが、うまくまとめていただきました。

“「四つのテスト」を元に何事も精一杯永く続けること。良い仲間を増やして、これまでやってきた人のやり方を学び、次代に繋げていくよう皆で伝えていくことが大事である。”

短い時間の中でしたが、更生保護活動とロータリークラブ活動との共通点を交えて意味深い卓話を頂きありがとうございました。